「自主、自立、自信」子供の「できた！」を見守る伴走者

いずかし

R8.6月11日　10号
文責：園田

迅速に、そして確実に

引き渡し訓練の様子

6月4日(金)に保護者への引き渡し訓練を行いました。

今後、自然災害や不審者対応など一刻も早く児童を下校させなければならない状況が出てくるかもしれません。その時に備えて、児童引き渡し後の車の流れや学校周辺道路への影響等を昨年に引き続き検証するために、今回も学校への入り方や、児童引き取り後の車の進行経路等について一定のルールのもとで動いていただきました。訓練の参加とご理解ご協力ありがとうございました。

当日は職員の人手の関係で、引き渡しの受付にお待たせする時間がありましたが、学校を出た後に周辺の見通しが悪い交差点もスムーズに通行できていたようです。ただ、緊迫した状態の日にどれだけ交通量の変化があるかは未知数です。学校周辺道路は道幅が非常に狭く、どのような方法にすれば少しでも早くスムーズにできるかを今後の反省材料にしたいと思います。

今後、引き渡し下校が想定される事案は次のように考えています。

引き渡し下校は「保護者へ引き渡し、安全に帰宅することが最大の目的」になります。今後もお迎えが困難な場合は祖父母等に連絡をしていただくなど、ご家庭の実情に合わせて動いていただきたいと思います。

近所のご家庭は車に限定せず徒歩によるお迎えも視野に入れたご判断をお願いします。

(一)天候の急変が予想され、児童だけでの下校が困難と判断した時。
(二)不審者情報等があり、児童だけでの下校は危険と判断した時。
(三)その他の事象で保護者への引き渡しが安全に下校できると判断した時。

もっとやればできる！運動

本校では、運営委員会が中心となり、5月より「もっとやればできる！」運動を開始しました。この運動は、全校児童が協力して様々な目標に挑戦することで、達成感や連帯感を育むことを目的としています。また、「植柳小生活４つの約束」や「やっしろスピリッツ」の大切さを理解し、自分たちで考えて行動する力を育てることも狙いの一つです。

具体的な活動は２つあります。

一つ目は各委員会が提案する全校一斉の活動で、目標を達成すると「黄色の星」を掲示板の木に貼ります。６月は「あいさつ運動」などが予定されています。

二つ目は各学級で決める月ごとの目標で、達成すると「ピンクの星」がもらえます。

これらの星が10枚たまると、校長より「大きな星」を授与し、表彰を行います。児童玄関の掲示板が、皆さんの頑張りの証である星でいっぱいになり、大きな「達成感の木」へと育っていくのを楽しみにしています。

児童会テーマ「笑顔で挑戦」には、「がんばって成長したい」という子供たちの純粋で前向きな願いが込められています。

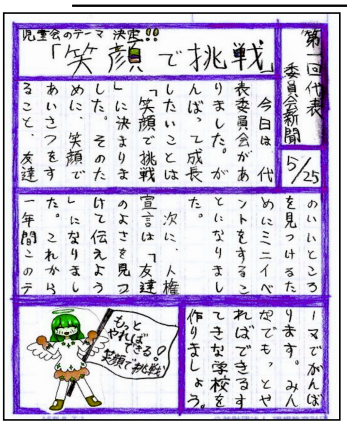
具体的には、以下の活動に取り組んでいくことが新聞に書かれています。

◆笑顔と挨拶の輪を広げる
笑顔で挨拶を交わすことができるよう、ミニイベントなどを企画・実施していく。

◆「人権宣言」の実践
「友達のよさを見つけて伝えよう」という目標を掲げ、互いを認め合える関係づくりを目指します。「やればできる」という自信を育む新聞の最後には、「みんなでもっとやればできる素敵な学校を作りましょう」という呼びかけと共に、「もっとやればできる！笑顔で挑戦」という旗を掲げた心強いイラストが添えられていました。

自分たちで目標を立て、その達成に向けて行動しようとする子供たちの姿は、とても頼もしく思います。この「笑顔」と「挑戦」の姿勢を大切に育み、子供たちが「もっとやればできる」という自信を持って成長できるよう、職員一同全力で支援して行きたいと思います。

笑顔で挑戦



子どもたちをつなぐ仲間づくりについて考える

先日、第三中学校区の小学校・中学校の教職員が一堂に会し、「人権同和教育レポート研修」を開催いたしました。この研修は、差別の現実を厳しく捉え直すことで人権同和問題を他人のことではなく「自らの課題」として深く認識し、子供たち一人ひとりに寄り添い、深く関わるための具体的な教育実践を交流し合う大切な場です。当日は、各学校の代表者が日頃の熱心な取り組みや子供たちの姿をもとにした実践レポートを報告しました。参加者は、その報告に真剣に耳を傾け、これまでの自身の指導を振り返りながら、熱心に学びを深めていました。差別を許さない強い意志と、子供たちの幸せを願う情熱は、すべての教職員に共通する基盤です。今回の研修で得た多くの気づきや学びを日々の学級経営や授業に還元し、子供たち全員が安心して自分らしく輝ける学校づくりに、校区全体で力を合わせて取り組んでまいります。

レポート聴く三中校区の本校職員